

東山小学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和5年度第3回東山小学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和6年2月27日（火） 午後2時15分から午後3時15分まで
- 3 開催場所 東山小学校多目的教室
- 4 出席者
 - (1) 委員 高橋勝男委員（会長）、安東正利委員（副会長）、
松山晃太郎委員（副会長）、吉田美和子委員、細川節郎委員、
村上友善委員、佐藤美枝委員、藤原洋委員、金里徹委員
 - (2) 事務局 金野敬之東山小学校副校長、小山和子東山小学校教務主任

5 議題

- (1) 今年度の学校経営反省について
- (2) 次年度の学校経営方針について
- (3) 次年度の学校運営支援協議会について
- (4) その他

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴人 0人

8 金里徹東山小学校長挨拶

本日の第3回学校運営支援協議会で今年度最終となる。本校は、研究協力校として学校運営支援協議会を先行実施してきたが、来年度から市内全ての小中学校で行われる。

今回は、今年度と来年度の学校経営について承認いただく場、ご意見をいただく場である。今回も忌憚のないご意見を頂戴したい。

9 議事内容

(1) 今年度の学校経営反省について

資料に基づき小学校副校長から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員（小学校長） 補足として、本校の課題である不登校児童が増加していることを付け加える。一関市の不登校児童の割合は、市内全児童数の1.26%であるが、本校では4.3%である。昨年度より増加している。

委員 不登校の理由は何か。

委員（小学校長） 理由はそれぞれである。対人関係の悩みや家庭に問題を抱えている場合、そのほか個々に理由が異なる。新型コロナウイルス感染症が流行してから全国的に不登校が増えている。

委員 対人関係の悩みが多いと思うが、児童数が減少しクラス替えもない。心配である。

委員 新聞に旧花泉小学校のフリースクールの記事が出ていたが、保護者から要望などはあるか。

委員（小学校長） 現在のところ、要望などはない。今後、問い合わせがあれば、紹介していく。なお一関市教育委員会には、今のところ40件ほど問い合わせがあったと聞いている。本校としては、不登校となっている児童が社会との接点がないならないよう、担任が定期的に家庭訪問をしたり電話連絡をしたりしている。

委員 藤沢町の「森の寺子屋」もある。様々な活動をしているようである。

委員 P T Aの動きは、何かないか。

委員（小学校長） 家庭教育学級やファミリーチャレンジウィークの取組がある。ファミリーチャレンジウィークでは、各家庭でノーメディアなどに1週間取り組んだ。

委員 ノーメディアデーについては、取組期間の1週間は守ることができるが、染みついた生活リズムを変えるのは難しい。タブレットを使った宿題の提出も午後10時を過ぎることが多く、午前0時を過ぎていることもある。

委員 タブレットを使った宿題とはどのようなものか。

委員 計算ドリルなどがペーパーレスになったようなものである。スポーツ少年団などの活動があると、「居間8（9）ルール」で示されている小学生は午後8時まで、中学生は午後9時までというメディア利用終了時刻までに、宿題を提出することが難しい。一関市の生徒指導のルールとタブレット学習推進の取組が合わなくなってきている。スマートフォンやパソコン、ゲームなどのメディア利用の課題としては、夜中までオンラインゲームをやり生活リズムが乱れる、多額の課金やいじめなどの問題があると捉えている。

質疑応答の後、令和5年度学校経営反省について全会一致で承認された。

(2) 次年度の学校経営方針について

資料に基づき小学校長から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 まなびフェストにある家庭での仕事について、最近はヤングケアラーの問題もある。過度な負担とならないよう気を付けて見ていただきたい。

委員（小学校長） 本校では把握していないが、東山地域ではヤングケアラーの児童生徒はいるのか。

委員 定義が難しいが、親に代わって兄弟の面倒をみるなど近い児童生徒はいる。

委員 ヤングケアラーとは違うが、ネグレクトも増えていると聞く。

委員 「かくれたカリキュラム」について、本校ではどうか。

委員（小学校長） 本校では、良い状況である。例として、電子黒板が新しく導入されたが、若い職員もベテラン職員も積極的に活用しようと職員研修を設けている。「東山スタンダード」の取組も職員で何度も検討会をもち、どの職員であっても同様な指導となるようにしている。

委員 ノーメディアの取組は、学校と家庭の願いや基準を合わせるのが難しい。

委員 学校ではしっかりしていて、家ではだらけているというのは、我が家でもある。「仕事を分担させる」というのは大事だが、やらされている感覚がある。家の仕事をするための目的は、豊かな心を育むことと思うので、進んで取り組む姿勢を大切にしたい。学校でも仕事を通して仲間の輪を作ってほしい。

委員 東山小学校の児童は、明るく元気な印象を受ける。不登校が増えているのは残念だが、今後も引き続き指導をお願いしたい。

委員 地域のランドデザインを作ったことがあるが、学校にもランドデザインがあることに驚いた。そのランドデザインに「こ保小中連携」とあるが、学校運営支援協議会は、幼稚園や保育園にもあるのか。

委員（小学校長） 一関市では、小学校と中学校に学校運営支援協議会を設置する。東山こども園や松川保育園とは、様々な面で連携を深めていきたい。

質疑応答の後、令和6年度学校経営方針について全会一致で承認された。

(3) 次年度の学校運営支援協議会について

資料に基づき小学校長より説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 学校運営支援協議会を小中学校合同で行うのは良いと思う。この際、委員も交代したほうが良いのではないか。

委員（小学校長） 小学校と中学校、長坂、田河津、松川の3地区、お世話になっている団体などバランスを考えて、委員を構成したい。現在、小学校長と中学校長とで検討を重ねているところである。連絡があった際には、引き続き委員を引き受けてくださるようお願いしたい。

(4) その他

令和6年度の生活時程について、資料に基づき事務局より説明を行った。質疑等なし。

10 担当 一関市立東山小学校